

2020年 生物班活動報告

兵庫県立神戸高等学校 自然科学研究会 生物班

活動

3年生3名、2年生8名、1年生10名が所属し、普段は部室で飼育しているカメ、魚の餌やりなどを交代で行っている。SSH事業の実験会への参加や、個人研究なども行っている。

研究

①カタツムリの研究

兵庫県内に多くの種類が生息するカタツムリに注目し、それらの遺伝子解析・系統樹作成を行いたいと考えている。

②ミナミヌマエビの研究

外来種との交雑が起こっている西日本固有のミナミヌマエビについて、菅生川(兵庫県)と早風呂川(岡山県)で採取した個体をもちいて交雑実験やDNA解析などの研究を行っている。



カタツムリ



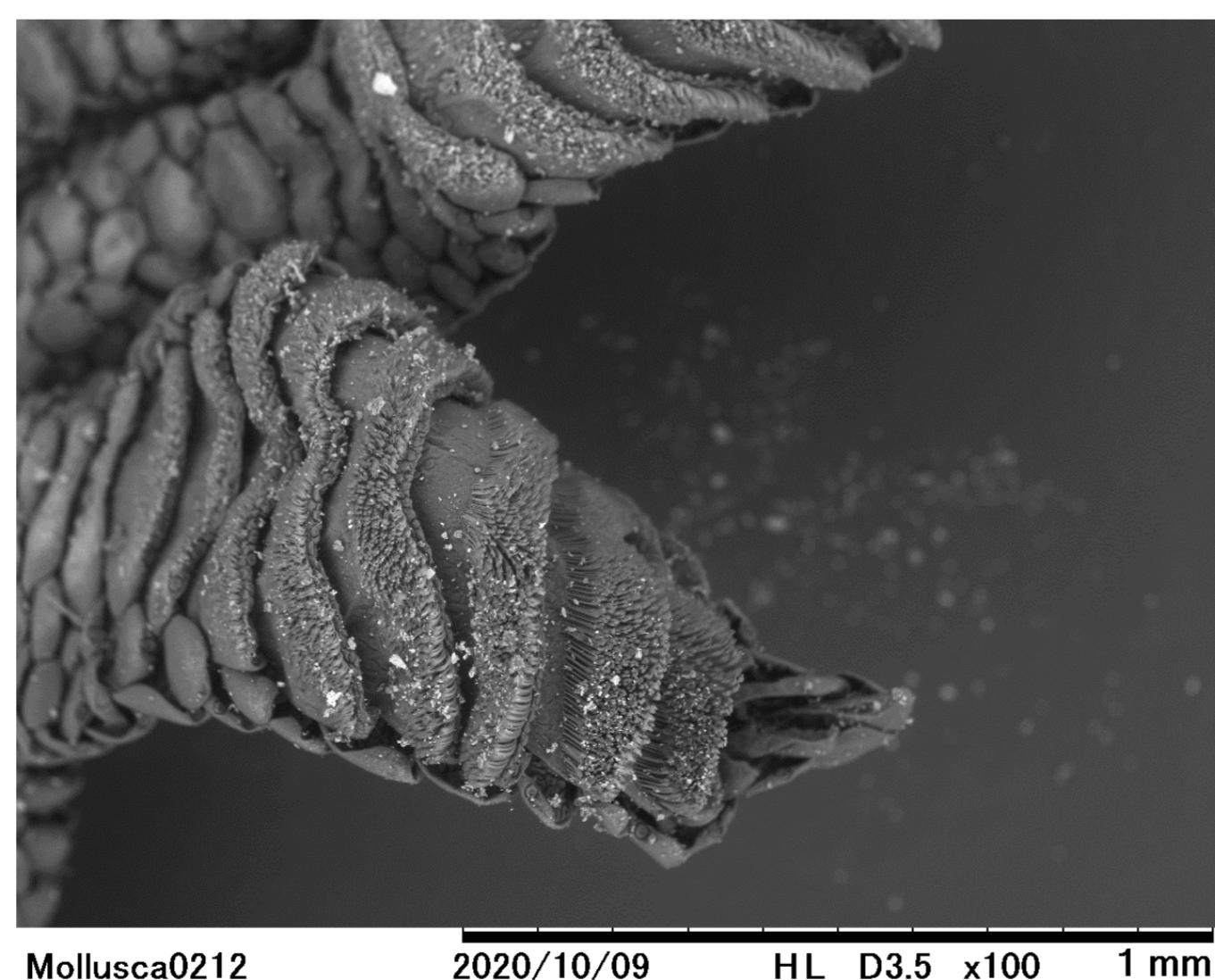
エビの飼育水槽

電子顕微鏡観察

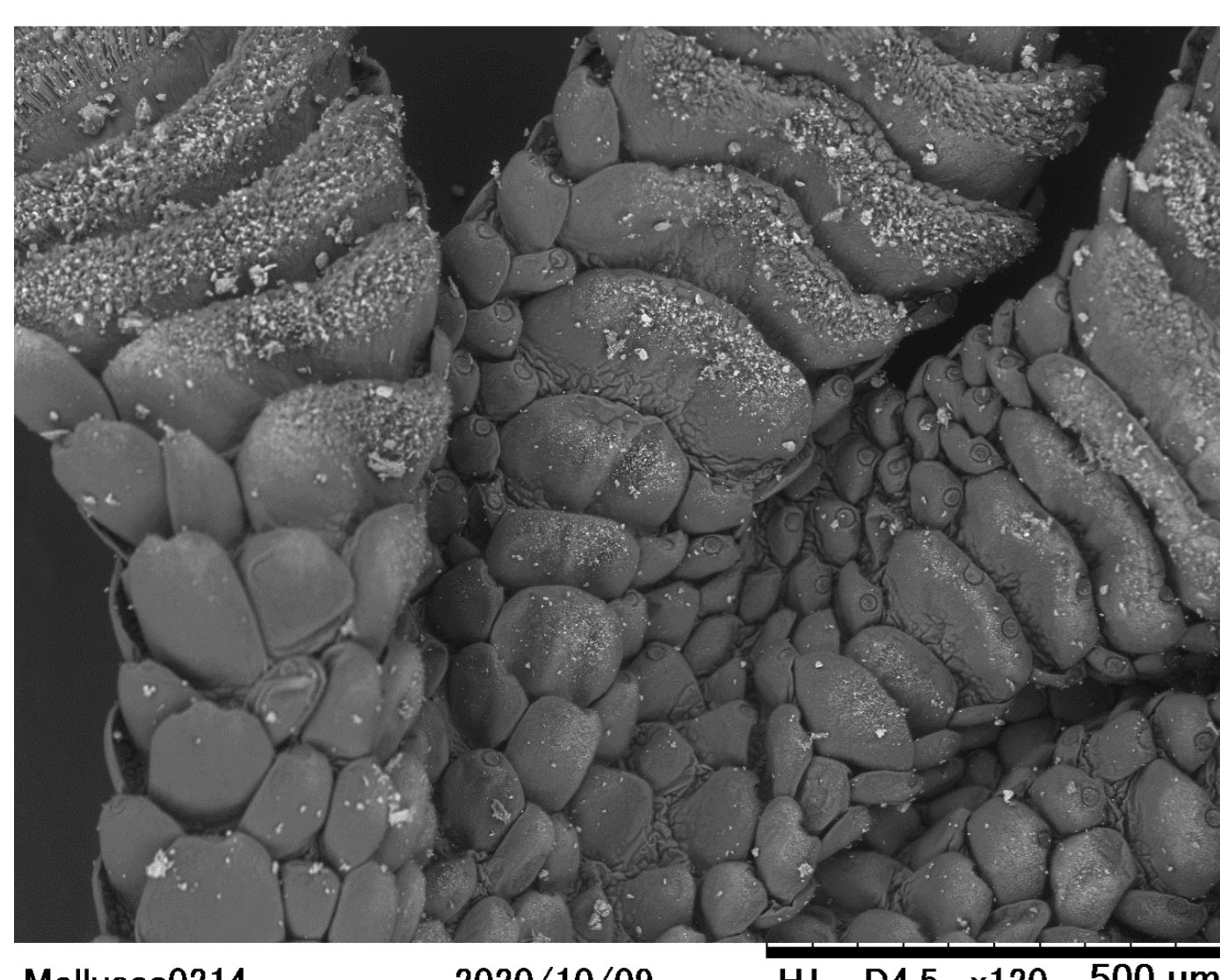
学校に貸し出されていた電子顕微鏡を使い、コメツキムシの触覚やイモリの足などを観察した。(電子顕微鏡は日立ハイテクノロジー社の協力による)



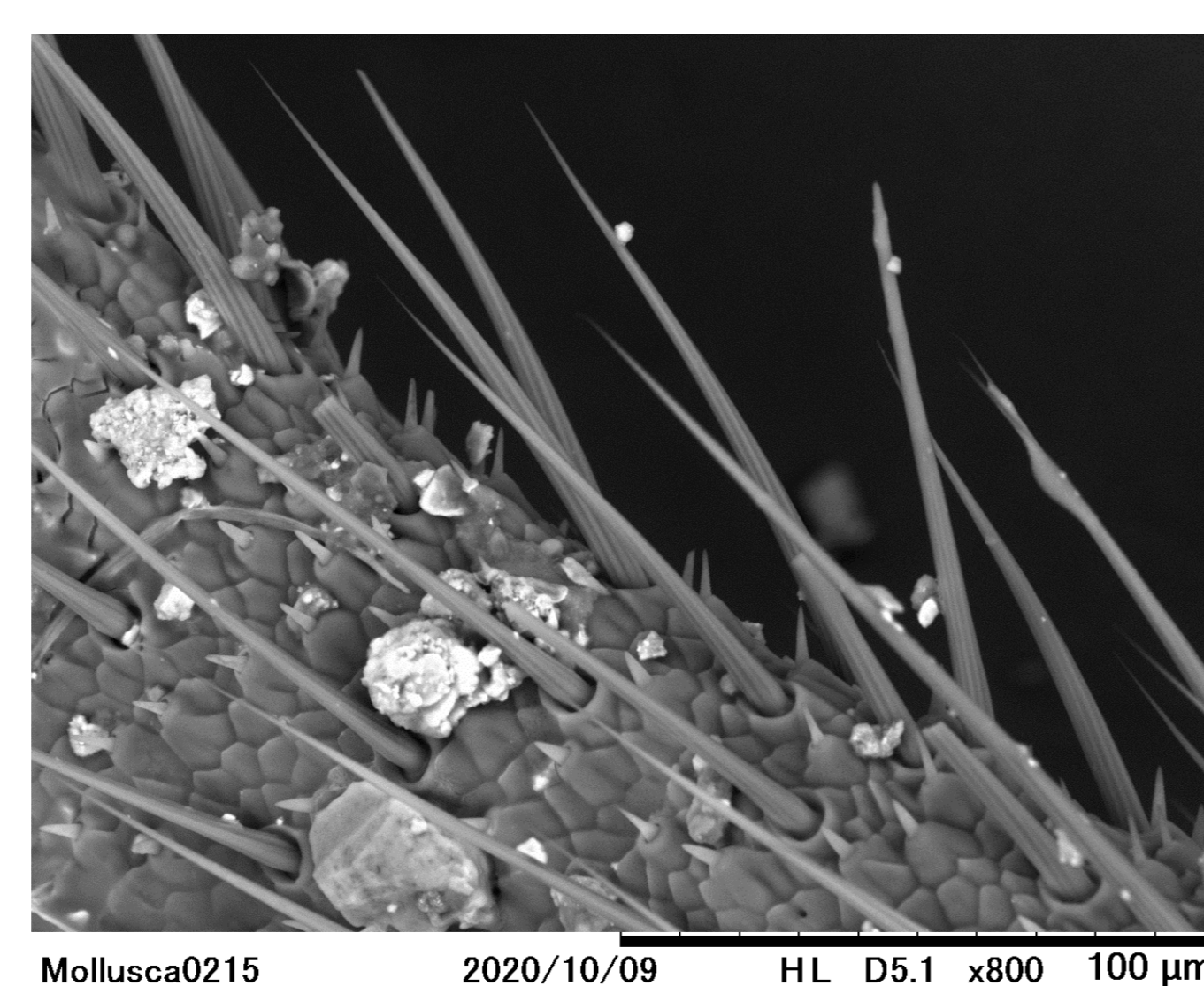
観察している様子



イモリの前足



イモリの前足



コメツキムシの触覚

臨海実習

8月21日、22日に姫路市の兵庫県立いえしま自然体験センターで臨海実習を行った。海洋生物の採集、観察やウニの発生実験などを行った。ムラサキウニの発生実験は原腸胚後期まで進めることができた。



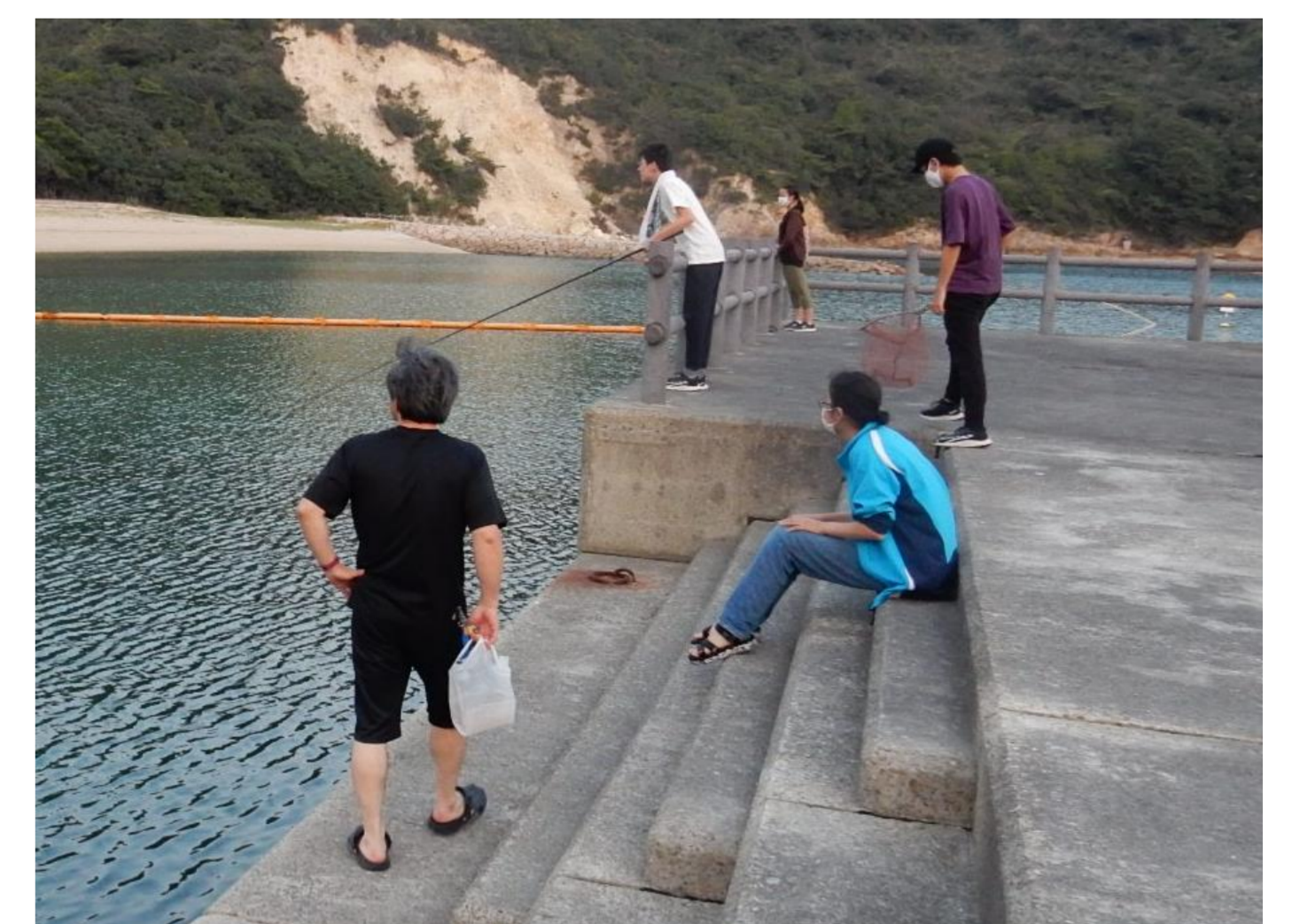
ムラサキウニ



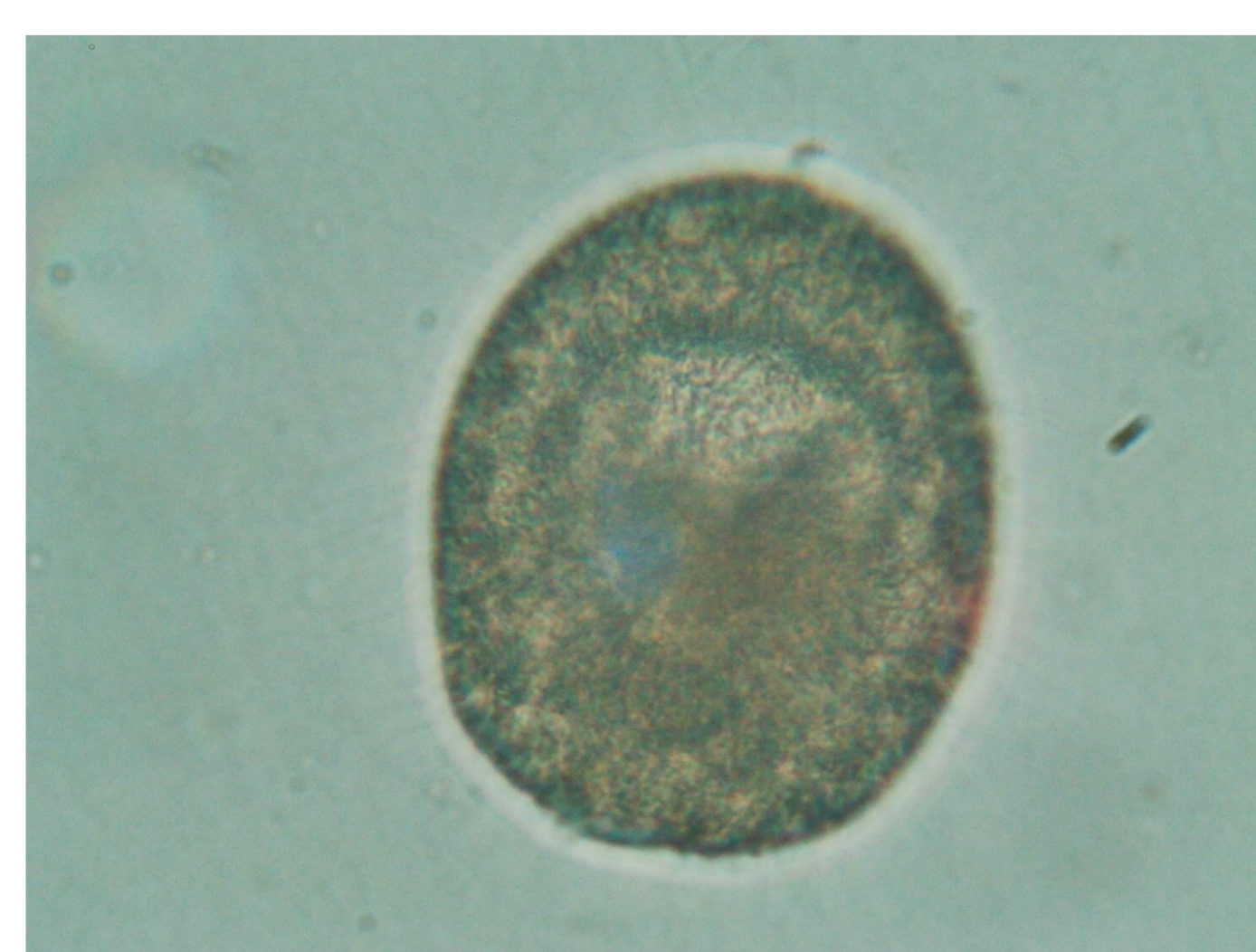
集合写真



実験の様子



釣りをしている様子



ムラサキウニの幼生



魚類